

子どもたちに原発ゼロの日本を

日本の原発が止まる
5月5日
（白3号機が停止に）

住民合意なし
安全担保なし

原発再稼働やめさせよう

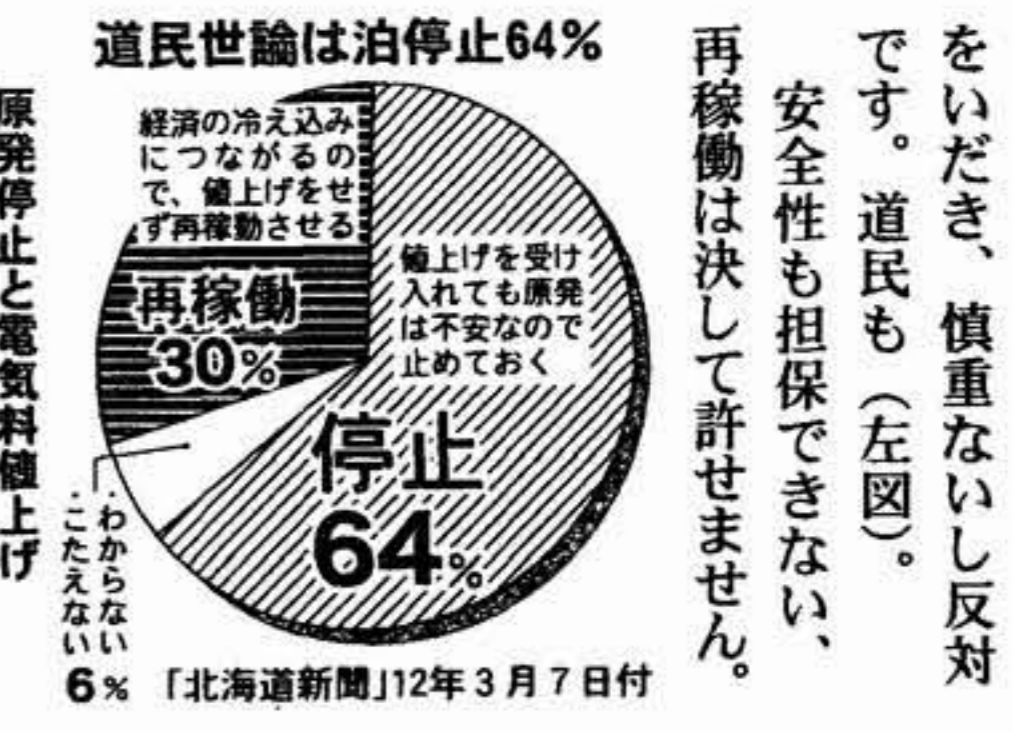
大飯原発の再稼働ストップを

国民多数が再稼働に反対しています



いま政府は、関電大飯原発3、4号機の再稼働の動きを強めています。しかし、政府の「新安全

基準」は安全を担保する厳格なものではありません。原子力安全委員長ですら「安全を判断できない」といつています。フクシマ事故の究明すら行なわれず、地震による細管破断も心配されます。しかも必要な安全対策は、再稼働と並行して行なう、というお粗末さです。国民多数が再稼働に不安



活断層の甘い評価に、保安院すら批判

北電試算は「却下」安全軽視やめよ



北電は、科学者の指摘と道民世論に押されて、活断層を再調査、評価しました。しかし保安院は4月23日、164ヶ所の活断層の連動評価は甘すぎる、として事実上「却下」しました。「甘い想定」で切り抜けようとする北電の姿勢は、安全性を軽視・無視するもので、断じて許せません。

電力不足 大丈夫

3号機が5日定期検査入り、北電は電力不足を口実に1・2号機の再稼働を急ごうと…。猛暑でもピークの対策さえとれば、心配いりません。需要も過剰見積りの可能性があります。節電と自然エネルギー拡充こそ大切です。

小樽市長―後志全市町村の合意求める

住民合意なし再稼働ゆるぎない

道民多数は、安全軽視の再稼働に反対しています。小樽市長は、1・2号機の再稼働は後志全市町村の同意を求めました。放射能の拡散予測から、当然のことです。30ヶ所の防災計画、避難計画すらできていません。住民の安全政策も保障できない、再稼働はストップすべきです。



力あわせ泊再稼働ストップ

党道委員会政策委員長 はたやま和也

危険な泊原発再稼働は、許せません。放射能汚染から子どもたちを守るため、原発ゼロの北海道をつくるため、力をあわせましょう。

原発ゼロ、自然エネルギーの拡充を―日本共産党